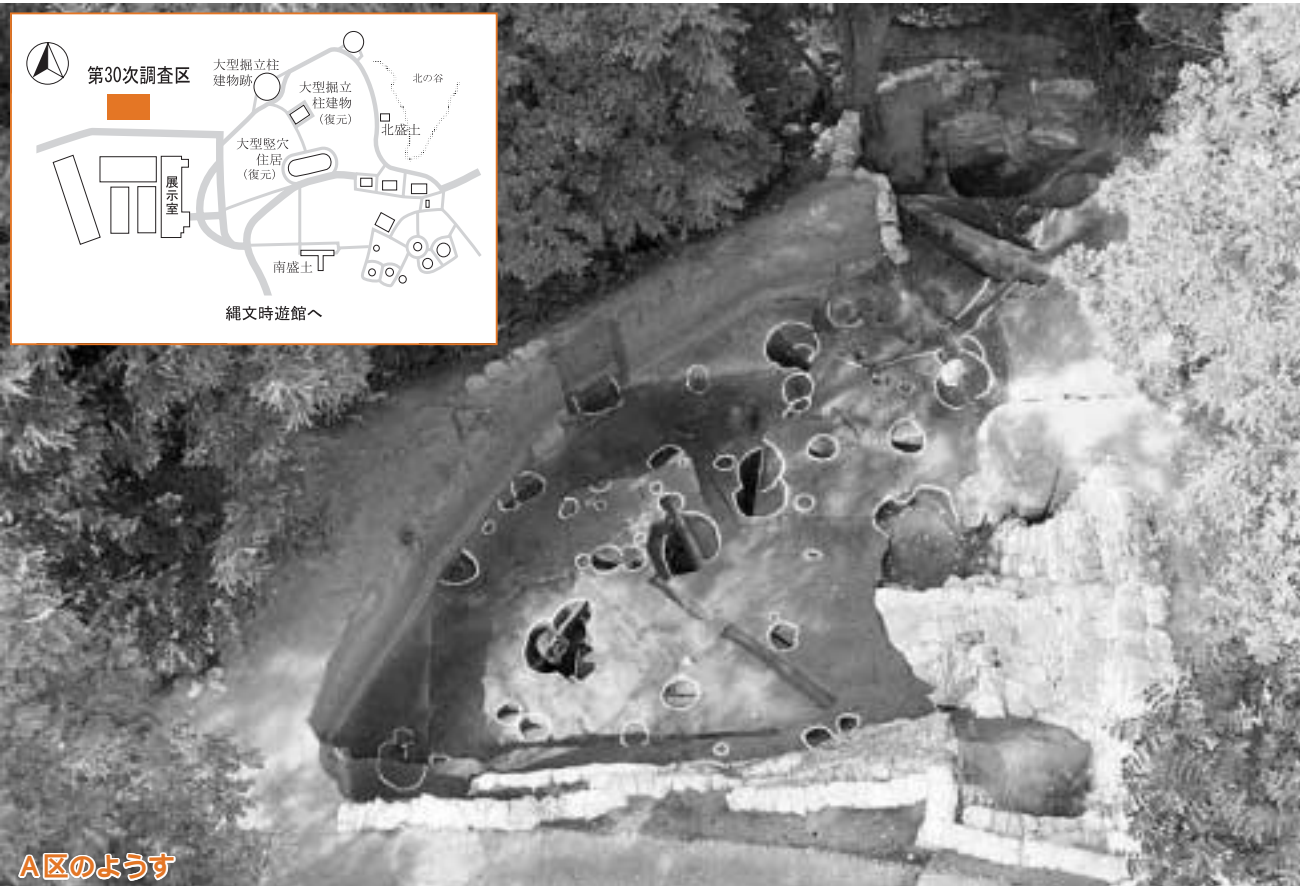
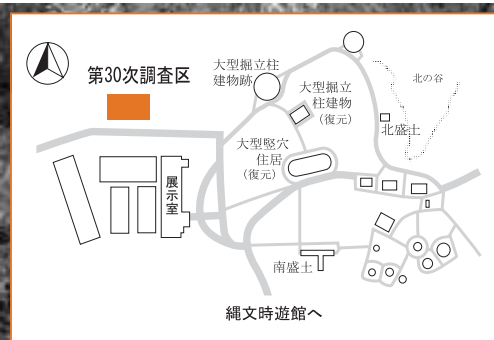


三内丸山通信

平成18年度

発掘調査の成果

5月22日から9月30日までの日程で、沖館川に面した斜面中段のA区と、台地縁辺部のB区の2地点で発掘調査を行いました(第30次調査)。その結果、6本柱の掘立柱建物跡を確認しました。また、4基の柱穴から大きな木柱を発見し、取り上げを行いました。



A区の様子

A区 斜面中段

発掘調査を行った斜面は、縄文人が長い間にわたって利用していた場所です。斜面の下の方が谷になっていて前期、中期には、ゴミ捨て場になっていました。徐々に埋め立てられた。中期中頃、終わり頃には、掘立柱建物がつくられるようになっていました。また、集



出土した木柱

木柱発見と取り上げ

直径80cm以上の大型の柱穴5基を詳しく調べたところ、4基の底の部分から木柱の根本部分が立った状態で見つかりました。最も大きいもので、直径60cm、長さ90cmあります。また、25度も傾いていたものもありました。

これらは、詳しい年代などを調べるため、取り上げることにしました。取り上げは木柱が痛まないように処置して木枠や鉄枠で固定し、クレーンを使って取り上げるといった大がかりなものになりました。現在、取り上げた木柱はクリーニング作業を終えています。きれいにしてみると、伐採した後、底の部分を石斧でまっすぐにしように加工しているものと、伐採の時の丸みが残っているものと、

木柱の取り上げ



B区 台地縁辺部

これらは、保存処理を行い、公開する予定です。

B区からも、掘立柱建物跡を確認しました。2基×3基の6基の柱穴の外側に、棟持ち柱となる可能性のある2基の柱穴が見つかりました。



B区の様子



「青森県の縄文遺跡群」を

世界文化遺産へ

青森県では、「青森県の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指しています。世界文化遺産に登録されるためには、文化庁で作成する国内の候補遺産リストである暫定一覧表に登録される必要があります。今年度から地方自治体からの提案

「青森県の縄文遺跡群」構成資産



を基に選定されることになりました。

このため、遺跡の所在する市や町と県との連名で、昨年11月28日、提案書を文化庁に提出しました。選定の結果、残念ながら今年度はリストに登録されませんでした。したが、継続審議となつたことから、来年度の登録を目指して、より積極的に取り組む予定です。

「青森県の縄文遺跡群」は、特別史跡・三内丸山遺跡をはじめ、国史跡に指定されている7つの縄文遺跡で構成しています。

今年も開催！
三内丸山冬まつり

三内丸山遺跡では2月3日(土)、4日(日)に「三内丸山冬まつり」を開催します。長さ20m以上もある巨大な滑り台をはじめ、縄文射的や雪ダルマ作りコンテスト、クイズラリーなど、みなさんが楽しめるメニューを用意しています。冬だから楽しい三内丸山遺跡を満喫して下さい。



あおもり

「縄文まほろば展」

開催のお知らせ



青森県では、世界文化遺産登録に向けて、縄文文化及び縄文遺跡の価値と魅力を全国に情報発信するため、大阪市で「あおもり縄文まほろば展」を開催します。

県内の縄文遺跡から出土した貴重な出土品約600点を展示するとともに、世界文化遺産登録に向けた取り組みを紹介いたします。

展示会

会 期 平成19年2月11日(日)～18日(日)

火曜日休館

開館時間 午前9時30分～午後5時

(金曜日は午後8時まで)

会 場 大阪歴史博物館(6階 特別展示室)

・観覧料 常設展示観覧券でご覧になれます。

・展示品について、青森県教育庁文化財保護課の専門職員がわかりやすく解説をします。

日時 平成19年2月12日(月)、17日(土)、18日(日)

午前10時30分、午後1時30分、3時30分

(所要時間30分)

【問い合わせ先】

青森県教育庁文化財保護課 (017)734 9922

最新情報展 『第30次調査の成果』

【場所】

展示室企画展示コーナー

【期間】

2月下旬～6月(予定)

今年度の調査区では、こ

れまでに8回の調査を行っ

てきました。

掘立柱建物跡や木柱の調

査成果を中心に、遺物やパ

ネルの展示を行います。

お答えします さんまるのギモン



三内丸山遺跡に関する素朴な疑問に答えるこのコーナー。今回のギモンはこれ！

「ヒスイの穴はどうやってあけたのですか？」

ヒスイって硬いのですか。

「ヒスイは岩石の中ではとても硬く、ハンマーで叩き割るのも大変です。」

金属ドリルのない時代に、いったいどうやって？



出土したヒスイ。新潟県の糸魚川付近から運ばれ、三内丸山で加工されたと考えられます。

(上：未製品や原石)
(下：ヒスイの大珠)



「いろいろな説が考えられています。例えば先を細くした骨などを使い、水と研磨砂を加えながら、錐のように回転させて穴を開けることもひとつの方法として考えられます。」

時間がかかるんだらうなあ。

「気が遠くなるような作業ですよ。でも縄文時代の人々は根気強く穴をあけたと思います。」

遺跡のご案内

遺跡の開園時間

9:00～17:00(3月まで)
ただし、遺跡内展示室、展示構の公開時間は9:00～16:30

ボランティアガイド定時案内

1回目は9:15から
その後は10:00から1時間ごと
最終は15:30から

交通手段

青森市営バス
JR青森駅から「免許センター行き」、三内丸山遺跡前で下車

園路は除雪を行っておりますが、歩きやすい靴でおこしてください。